



北東中だより



夏休み号 NO. 4

文責 仙洞田茂雄

風にゆれる風鈴の音が心に響く 夏の風 夏の音が聴こえる



挑戦 夢に挑む



連日の猛暑に台風、梅雨明けも近い7月、67日の1学期が終わり、40日間の夏休みが始まります。1学期にも世界の様々なニュースがありました。身近なところで、サッカーナデシコジャパンの挑戦が記憶に新しいと思います。2011年のワールドカップの優勝から4年、世界は進歩し、挑戦者として戦ってきた今年。ファイナルまで到達しましたが、結果は銀でした。しばらく呆然とする選手に笑顔はありませんでした。世界NO.1優勝という夢に向かい、成し遂げられなかった悔しさ。頂点へと挑戦し続けた、これまでの軌跡。様々な思いがカナダの地で交錯したに違いないと思います。試合終了のバンクーバーの空を見上げる選手達の姿に、夢に挑み、怪我やチームの課題を乗り越え、挑戦してきた日本人の気概と清々しさを感じました。

人類の歴史には、夢に挑んできた多くの歴史があります。先日ある伝記を読んでいて思い出した一節があります。

～文明史は夢の挑戦史と言っていい。夢に挑み、幾多の困難を乗り越えて夢を実現した人たちには、等しく共通したものがある。困難を「障害物」ではなく「跳躍台」にしたことである。

その典型はトーマス・エジソンである。エジソンは1847年、アメリカ・オハイオ州に生まれ、84歳でその生涯を閉じた。その間に成した発明、改良は3000に及ぶ。30歳で電話機や蓄音機を生み出し、その翌年、31歳で人類史上に画期をもたらした実験に取りかかる。白熱電球の発明である。実験に打ち込むこと1年。5000回もの失敗を繰り返し、1879年、32歳のエジソンはついに白熱電球45時間連続点灯に成功した。今から135年前。それまで人類は夜はローソクで暮らしていた。夜は暗いものと決まっていた。その生活を電灯という灯りを創り出すことで一変させたのだ。

有名な逸話がある。「電球を完成させるのに5000回も失敗したそうですね」という新聞記者の質問に。エジソンはこう答えたのだ。「5000回も失敗したって？そんなことはない。うまくいかない5000通りの方法を発見するのに成功したんだよ」

失敗の数を成功への方法ととらえたトーマス・エジソン、私達の進むべき「道」を教えてくださいのようです。

さあ一夏休み！勝負の夏 文武両道 北東中生の夏 成功への近道はない



朝読書は毎朝8時25分からそれぞれが自分の好きな本を読む時間として取り組んでいます。朝全校を回って見るとどの学年もとても静かに本と向きあっていました。テスト前には自主学習の時間として真剣にとり組んだ1学期でした。1年生も学校のリズムに慣れてきました。休みに入っても、生活習慣を乱すことなく、読書や学習に励んで下さい。

朝読、朝学に真剣に取り組む 1, 2年生



2年生 1分間スピーチの様子

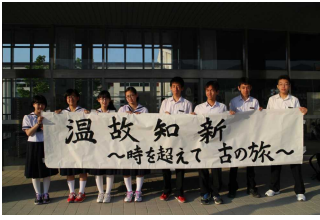
●各クラスでは、校内研究の一端として学活等で1分間スピーチを取り入れ、表現活動を培うという目的で、取り組んでいます。人前で話すことやその内容や姿勢等を、相互に評価しています。その真剣な態度に感心しました。



理科の実験をする 3年生

いよいよ受験体制に入る3年生。最後の部活動。3年間の成果をこの夏にぶつけ、それぞれ違う、自分の夢、目標に向かい全力で進んでほしいと思います。

3年生 「絆」 修学旅行で見たもの



◆私は修学旅行で、古都の文化の素晴らしさを心と体で感じる事ができた。一つ目は漆器である。学校の美術の授業で伝統工芸の学習をした時、漆器にとっても興味をもった。だから漆器加飾体験は、修学旅行で最も楽しみにしていた。実際に体験してみると、細かい線の部分に色をつけ、色を重ねたりするのはとても難しかった。漆器という文化にふれたことは私の貴重な思い出となった。二つ目は古都に住む人々である。修学旅行では、たくさんの人々とふれ合う機会があった。タクシートの運転手さん、お店の店員さん、ホテルの方々。皆さん私達にとっても優しくしてくれた。おかげでとても充実した三日間を過ごすことができたと思う。建造物を力強く、美しく見ることができ、古都の人々の努力があるからである。体と心で文化に触れるという経験は私にとって初めての事だった。見たことのない色や形を目の前にし、学んだことが多く、更に内容の濃いものになったと思う。中学生として感じた文化をこれからも忘れず、残り少ない中学校生活を過ごしていきたい。◆

2年生 「将来」 職場体験事前学習を通して



◆私は今回の職業講話を聞いて、いろいろなことを考えさせられました。まずは消防士の方の話で「仕事で危険な時や怖いと思う時が一杯あった。」というのが最初はなぜ自分の命をかけてまでそういう仕事をしたんだとか思っていました。しかし、「町の人に声をかけられた時に、うれしかった。やりがいを感じ、やめたいと思ったことはない。」という話しを聞いて、消防士は人を助けるという人間としての素晴らしさを身

につけられるんだなと興味を持ちました。もうひとつ、クロネコの方の話も聞いて、配達という仕事は物を運ぶだけでなく、送った人の気持ちと、送られた人の気持ちを考えて、責任感がないとできない仕事だと知ることができました。私は今回の職業講話を聞いて、何の仕事でも、ほとんどが人のためになるという、人として成長ができる仕事なんだなと知ることができ、これから何が役に立つのかを考えながら、生活していきたいです。◆

1年生 「発見」 宿泊学習の体験から得たもの



◆自然の大切さだけでなく、普段やっていない布団のたたみ方などを自然の家で学び、協力することの大切さを班別自主見学で学んだ。今回の宿泊学習は2日間で色々なことを学ぶことができ、いい体験になった。◆班別自主見学では、普段は車で通り過ぎている所を見る事ができ、良い体験となりました。野外炊事でも友達と協力してできたカレーはとってもおいしく、たった1泊だったけれど、たくさんの体験と思い出が詰まった2日でした。◆今回の宿泊学習を通して、私はまだ中学生としての自覚をもっていないと思います。けじめをつけ、着席、忘れ物をしないようにしていきたいです。宿泊学習を通して反省したことを、改善していきたいです。◆2日間で反省する点もあったけれど、班別行動や始めて行う学校林活動などは、協力し合い楽しく活動できて良かったと思う。もう少し時間を守れるように頑張っていきたいと思う。◆



て、私はまだ中学生としての自覚をもっていないと思います。けじめをつけ、着席、忘れ物をしないようにしていきたいです。宿泊学習を通して反省したことを、改善していきたいです。◆2日間で反省する点もあったけれど、班別行動や始めて行う学校林活動などは、協力し合い楽しく活動できて良かったと思う。もう少し時間を守れるように頑張っていきたいと思う。◆

心動かす音づくり

ブラスバンド部 「ツクイ訪問」



7月5日ブラスバンド部がツクイ（デイサービス）を訪問し、演奏を披露しました。心に響く演奏活動、北東中生、素晴らしいですね。

◆最後のツクイでの演奏ということで、いつもと違う気持ちだった。皆さんがとても喜んでくれて本当に心から嬉しいと思った。音楽はただ耳で聴くだけでなく様々な力を持っていると実感した。少ない人数でも予定よりも早く準備をすることができて、成長が見えてきた。あと2ヶ月精一杯頑張りたい。(部長有泉向日葵)

◆今日感じたことは、自分達の音で感動してくれる人がいるということです。演奏が完璧だったとは思えないけど、ツクイの方がとても喜んでくれていて、もっと練習したいと思いました。音楽祭などで発表する機会は今まででもたくさんあったけど、あまり意識していなかったと思います。コンクールに向けて練習していると「良い賞をもらえるように」ということばかり

考えてしまいがちだけど、本来の音楽は良い賞をもらうためではなくて、人の気持ちを動かすためのものではないかと今日思いました。コンクールのために吹奏楽をやっているわけではないから、コンクールの曲でも、コンクール曲なりに伝えられるものがあると思うので、頑張りたいです。演奏の技術の面では、リードミスや音の間違いはなかったけど、ピッチが合わない所や、音がゆれてしまった所があって、もっと練習しないといけないと思いました。でも1年生が入ったことで音が厚くなったり、深みのある音になったと思うので、新しい1年生とも協力して、まずはコンクールに向けて頑張りたいです。(2年原田綾乃)

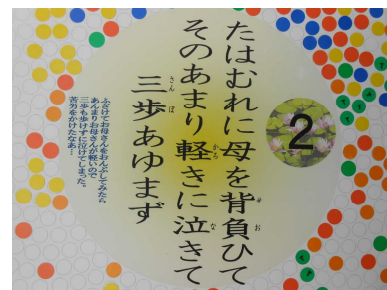
本年度、山梨県吹奏楽コンクールは8月2日（日）コラニー文化ホールで行われます。

石川啄木 愛と悲しみの歌 企画展



等身大の石川啄木

図書館を情報発信として、7月1日より17日まで石川啄木企画展を実施しました。県立文学館と連携した企画展の開催で、期間中はスタンプラリーを実施し、1～10の短歌を校舎内に掲載し、一つずつ覚え、暗記できたらスタンプを1つ、全て覚えると校長から終了のスタンプをもらい、参加賞の石川啄木記念しおり等をもらうという企画でした。早い生徒で1日で全てを暗記し、校長室に来る生徒もいました。生徒が思い思いの感性で、その短歌や、啄木の生涯にふれることで文学を感じる心が育まれればと思います。



全て覚えた上位10名は田代蒼流(3年)久保田将一(3年)松土滉太(1年)松村信(3年)北村麻奈(3年)近藤野乃花(3年)古屋向日里(3年)松崎モーク澄子(3年)宮村采(3年)中村海莉(2年)さんでした。校長から京都の絵をそれぞれに贈りました。学校が様々なアイデアで満ちあふれ、北東中の更なる活性化を考えていきたいと、常日頃考えています。2学期は、飯田蛇笏展、3学期には村岡花子展を、文学館との協力で企画しています。文学だけでなく様々な分野も今後企画検討していきますので、生徒の皆さん楽しみにして下さい。また、保護者、地域の皆様にも、本校の近くにお寄りの祭は、是非お立ち寄り頂きたいと思ひます。



夏という「時」

「夏休み」に入るとつい時間の使い方が悪くなってしまいがちです。終わってみれば「あの時～しておけば良かった」とかよく聞くことですね。「夏」はゲームや携帯・スマホなどのメディアから離れ、読書や趣味、何かを研究したり、図書館や美術館、博物館等といった普段できないことにチャレンジし、見識を深め、自分自身を広げることができる「時」です。成長の夏、挑戦の時、2度と戻らない2015年の夏を有意義で、後悔のない思い出に残るものにしてほしいと心から願っています。

保護者の皆さまへ
「メディア依存という課題」

長時間のゲームやテレビを見てると脳の前頭葉に影響が出るといわれています。前頭葉の働きは、記憶力、集中力、判断力、コミュニケーション力などで、人としてとても重要な部分なのです。前頭葉の変容は外から見えません。見えないから普段の生活の様子や親子のコミュニケーションが大事なのです。

この夏はメディアから離れ、豊かな感性を！

甲府空襲から70年

七夕に願いを込めて・・・



太平洋戦争末期の1945年（昭和20年）7月6日の夜から7日にかけてグアム島のマリアナ基地から飛び立った131機のアメリカ軍B-29爆撃機による、甲府への空襲がありました。これを甲府空襲といいます。甲府市内は火の海となり、市街地の約74%が焼きつくされ、負傷者は1,239名、被害戸数18,094戸といわれています。忘れていけない私達の歴史、戦争の悲惨さ、平和の尊さをみんなで考えていきたいと思えます。

7月校舎の玄関内に、七夕飾りをしました。平和のありがたさを考えながら、願い事を短冊に託して飾る生徒。ふと足を止めて短冊を眺めている生徒の姿が目にとまり、幸せと平和な世の中をあらためて実感しました。

★短冊には「目指す高校が合格しますように」「絶対レギュラーをとる」「家族が平和で健康に暮らせますように」「コンクールで金賞がとれますように」「友達と仲良く」「高校を卒業して海外移住をしてカナダで働く」「学力向上」「頭が良くなりますように」「今世紀最大の金持ち・大青春」「文武両道」「いつもポジティブに」「ギタリストになれますように」「幸運に恵まれますように」「目標達成」「あきらめないで頑張れますように」「バトミントンがうまくなりますように」「二葉祭優勝できますように」「第1志望校に合格できますように」と生徒の願いにしばし足を止めました。そして最後に「全校生徒が健康で元気で、また2学期が迎えられるように 職員一同」と短冊を飾りました。

1学期様々な面で、保護者の皆様、地域の皆様に大変ご協力頂きましたことにお礼を申し上げます。夏休みとなり、生徒も地域や家庭で過ごす時間が増えますので、あたくかく見守って頂ければと思います。今後ともよろしくお願いたします。

今後の予定

8月27日	始業式 避難訓練
28日	1・2年到達度テスト
9月1日	木曜授業
5日	北口清掃
10日	金曜授業
11日～12日	二葉祭 文化 体育部門
14日	学園祭のための繰り返し替え休日

